

晴明伝説

17

解答目安時間 15分

正解数 (合格ライン4問) 8問

ライバル道満との死闘

あしや どうまん

蘆屋道満との知恵比べ



ライバル蘆屋道満

夏みかんの戦いでは完勝!

安倍晴明は陰陽師としての実力をつけていき、名声も高まっていましたが、晴明最大のライバルが登場します。蘆屋道満です。道満は、薩摩国の陰陽師でしたが、晴明の名声を耳にして都に上って晴明と対決しようと考えました。しかし、晴明は占いによってこのことを事前に察知していました。

道満の実力をあなどれないと感じた晴明は、本格的な対決を天皇の前で行うことにしました。内裏に控える二人の前に、長持ちが運ばれてきました。その中には夏みかんが16個入っていました。天皇はまず晴明に「占いもうせ」と命じます。しかし、晴明は式盤をいじるばかりでなかなか答えをだそうとしません。そこで、天皇は道満に「先に占いもうせ」と命じます。道満にとっては、長持ちの中身を見ぬくことぐらいとも簡単なことです。すぐに「夏みかんが16個でございます」と答えました。

晴明はこの瞬間を待っていたのです。すぐに術を使って、長持ちの中身を16匹のネズミに変えてしまいます。長持ちのふたを開けると、はたして中からはネズミが16匹飛びだしてきました。天皇も居並ぶ貴族も、長持ちの中には夏みかんが入っていたことは知っ

ています。天皇は、晴明の知恵と術の方が上回っていると判定したのです。

こうして、約束通り、道満は晴明の弟子となるのですが、道満はこれで終わる男ではありませんでした。この後も、晴明になんども戦いを挑み、あげくの果てに晴明の命さえ奪ってしまうのです。

雑学 ●夏みかん以外の対決

豆知識 道満が庭の砂を手にして、空に放り投げると、無数のツバメとなり空を飛び回ります。晴明は、扇を打ち鳴らすと、飛んでいたツバメが落ち、元の砂に戻ってしまうなど、夏みかんの対決前にも術比べをしています。

問題 晴明と道満は壮絶な術比べを行っています。その術比べに関する問題です。正しいものを選び答えてください。

① 道満が砂を手にし空に放り投げるとある生き物に変身しました。その生き物とは?

- a. フェニックス
- b. ツバメ
- c. フクロウ

② ①を見た晴明があるものを打ち鳴らすと道満が作り出した生き物は元の砂に戻ってしまいました。晴明が打ち鳴らしたものは?

- a. 扇
- b. 太鼓
- c. 足音

③ 次に晴明が念を唱えると、何が出現しましたか?

- a. 龍
- b. ケントロウス
- c. 人魚

④ ③で出現したものはどのような行動を取りましたか?

- a. 砂嵐を巻き起こす
- b. 太陽の温度をあげる
- c. 雨を降らし続ける

⑤ 道満は④で起きた出来事にどのように対処しましたか?

- a. さまざまな術を使ったが対処できなかった
- b. 晴明の術を見破った
- c. 何もしなかった

⑥ 夏みかんの対決で晴明は夏みかんを違うものに変えてしまいます。晴明が変えたものとは?

- a. 兎
- b. ネズミ
- c. 猫

⑦ 夏みかんの対決で負けた道満はどうしましたか?

- a. 晴明の弟子になった
- b. 陰陽師を辞めた
- c. 出家した

⑧ 蘆屋道満はどこ国の陰陽師でしたか?

- a. 摂津国
- b. 播磨国
- c. 薩摩国

①

②

③

④

⑤

⑥

⑦

⑧